

注1

磁北線早見表

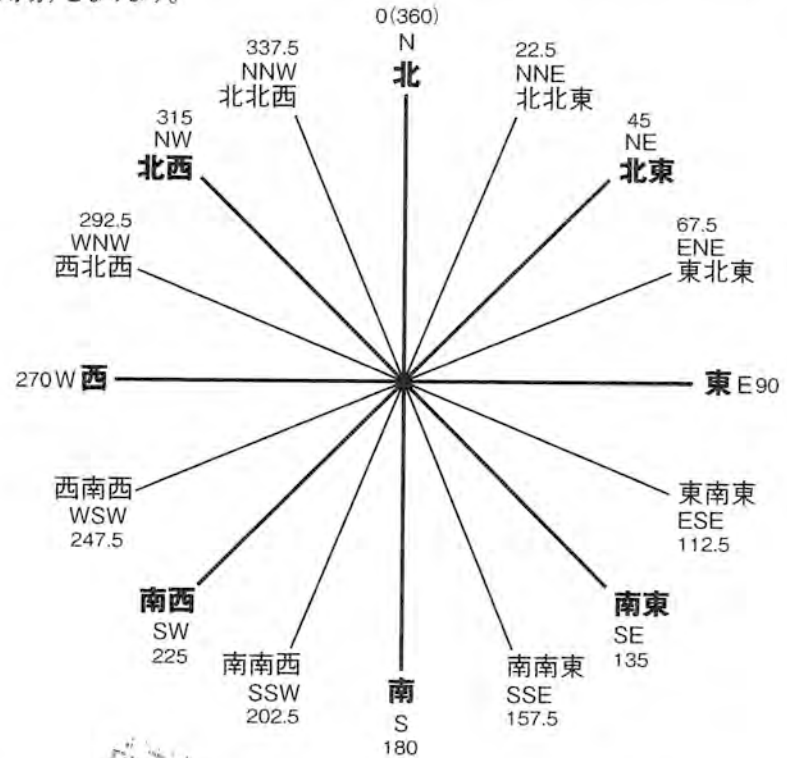
西偏角度	旧地形図 (縦370mm)	新地形図 (縦420mm)
5° 0′	32.4mm	36.7mm
5° 10′	33.5mm	38mm
5° 20′	34.5mm	39.2mm
5° 30′	35.6mm	40.4mm
5° 40′	36.7mm	41.7mm
5° 50′	37.8mm	42.9mm
6° 0′	38.9mm	44.1mm
6° 10′	40mm	45.4mm
6° 20′	41.1mm	46.6mm
6° 30′	42.2mm	47.9mm
6° 40′	43.2mm	49.1mm
6° 50′	44.3mm	50.3mm
7° 0′	45.4mm	51.6mm
7° 10′	46.5mm	52.8mm
7° 20′	47.6mm	54.1mm
7° 30′	48.7mm	55.3mm
7° 40′	49.8mm	56.5mm
7° 50′	50.9mm	57.8mm
8° 0′	52mm	59mm
8° 10′	53.1mm	60.3mm
8° 20′	54.2mm	61.5mm
8° 30′	55.3mm	62.8mm
8° 40′	56.4mm	64mm
8° 50′	57.5mm	65.3mm
9° 0′	58.6mm	66.5mm
9° 10′	59.7mm	67.8mm
9° 20′	60.8mm	69mm
9° 30′	61.9mm	70.3mm
9° 40′	63mm	71.5mm
9° 50′	64.1mm	72.8mm

16方位と方位角

東・西・南・北を基準に、円周を16等分したものが16方位。アルファベットは方位名の略号です。また、北を0度(=360度)として、時計回りに東を90度、南を180度、西を270度のように、方位を角度で表わしたものが方位角。16方位において、方位間隔は22度30分(=22.5度/360度の16等分)となります。



同行者とコースを確認し合うときなど進路や向きを方位で表現してみよう



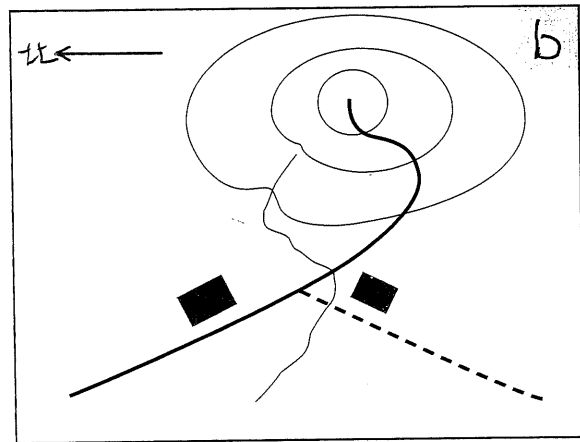
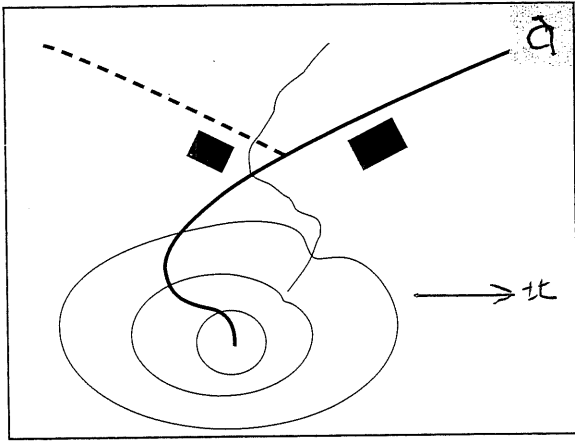
方位を知るために必需品となるのがコンパス。山歩きでは、地形図とセットで活用する

地形図と組み合わせて活用するには、このようなプレートつきのコンパスが適している

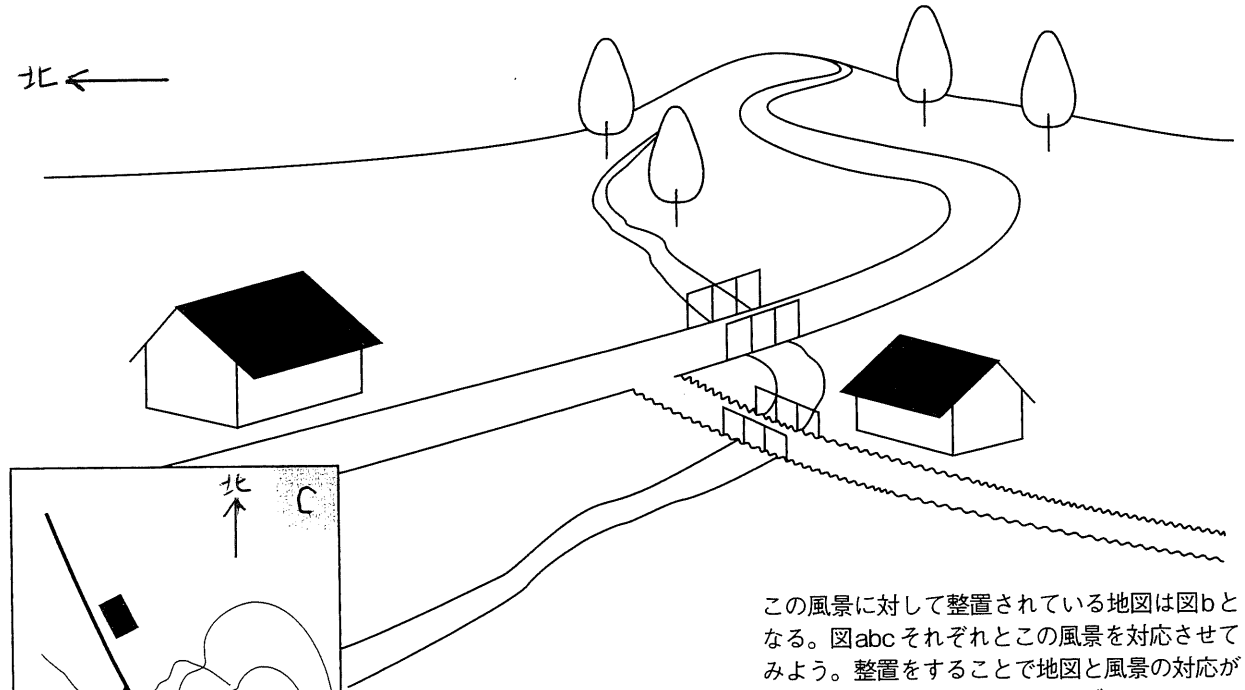
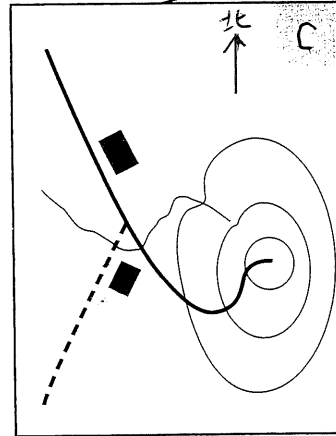


注5

\ 平行 \



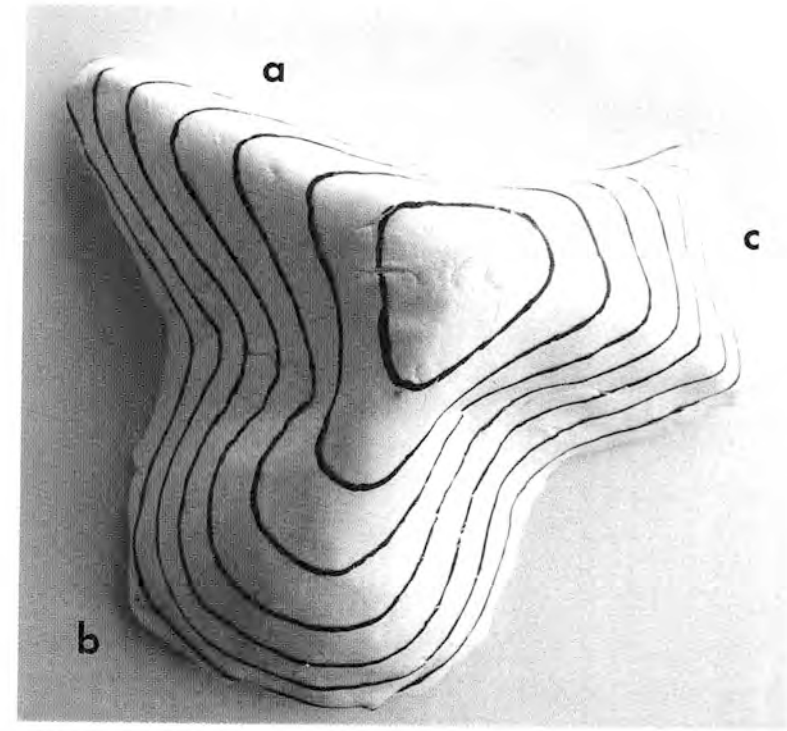
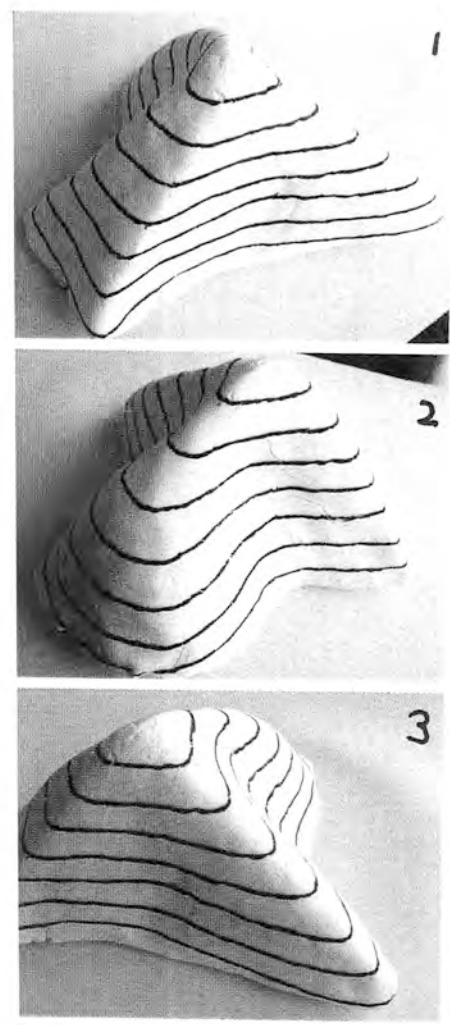
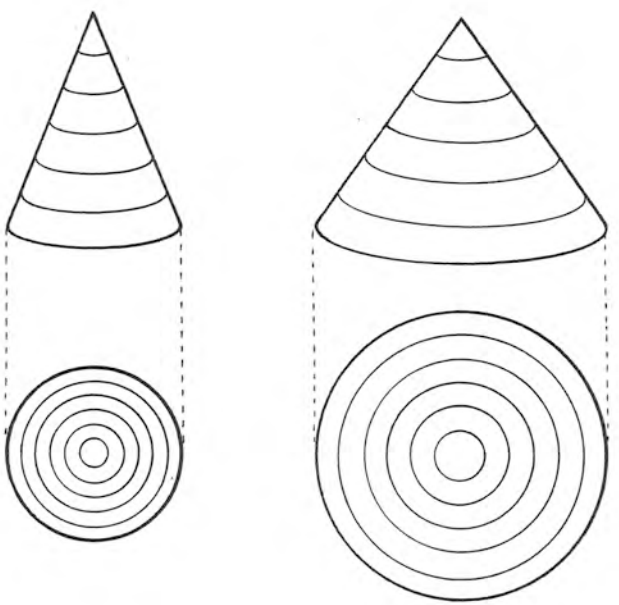
北 ←



この風景に対して整置されている地図は図bとなる。図abcそれぞれとこの風景を対応させてみよう。整置をすることで地図と風景の対応が容易になることが実感できるはずだ

図7

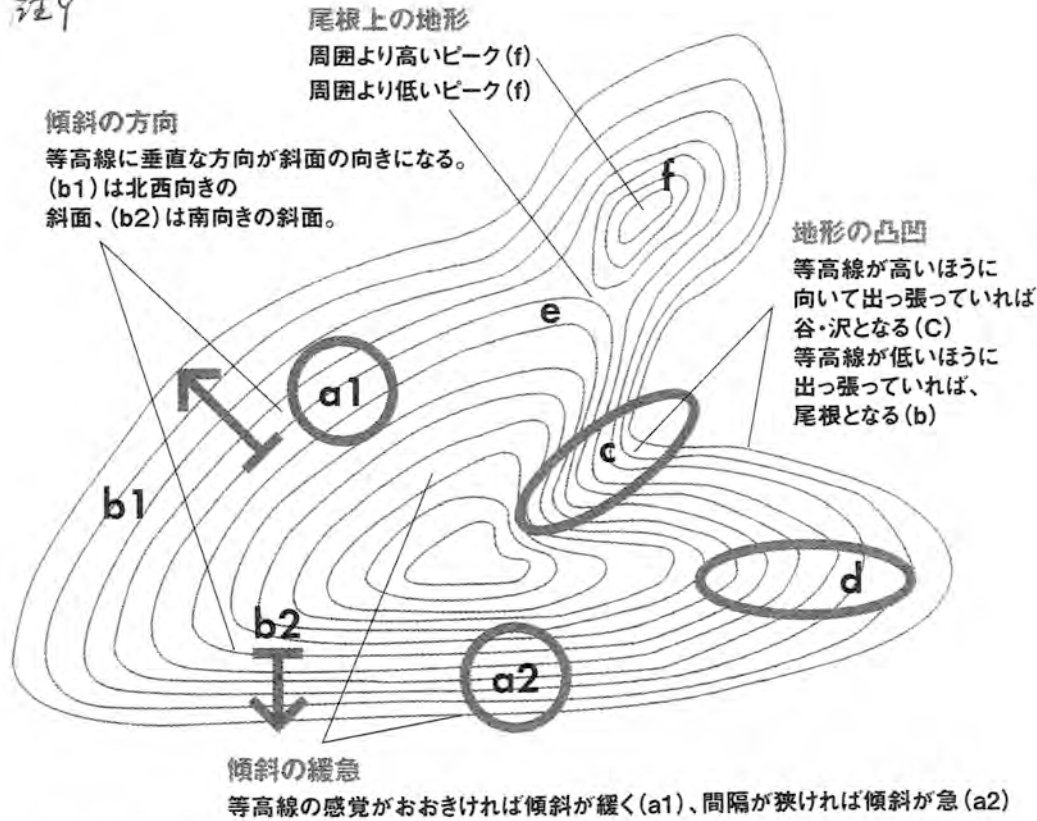
イラスト 2



◎ 等高線によって描き分けられたいろいろな尾根

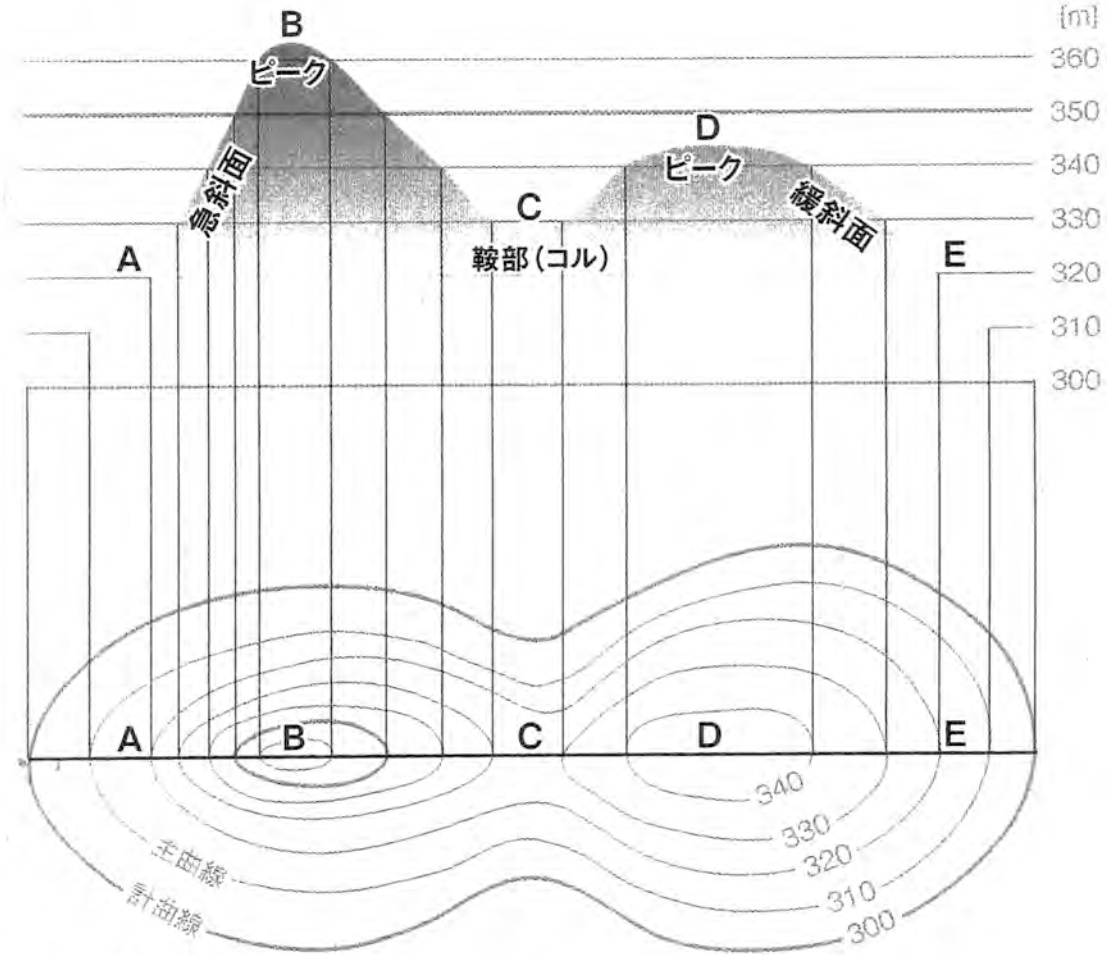
等高線によって描き分けられたいろいろな尾根。abcはそれらに対応した実際の尾根。a.尖った尾根 / b.丸い尾根 / c.箱形の尾根

図9



等高線から読み取れるもの。地形要素 (c, d, f, e) の他にも傾斜の緩急 (a1: 等高線間隔の広い緩斜面 / a2: 等高線間隔の狭い急斜面)、斜面の方向 (b1: 北西向き / b2: 南向き) が読み取れる

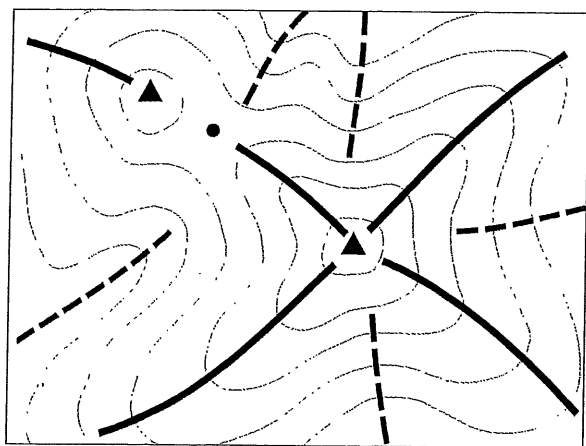
図8



等高線と地形の関係を簡単に表わした断面図

注10

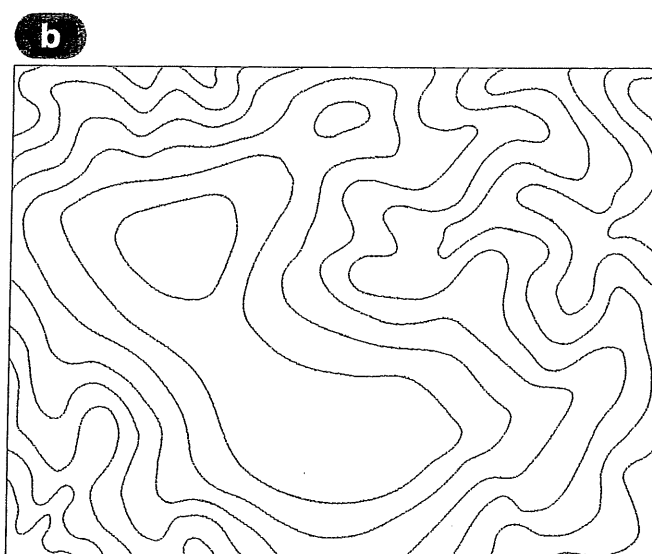
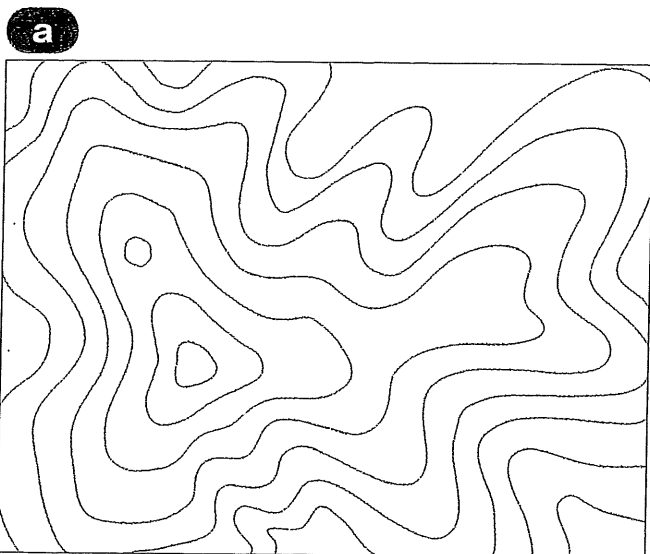
等高線読解の第一のポイントは、地形把握のカギとなる尾根・谷・ピーク、鞍部といった地形の要素を見つけることだ。下の図に、等高線図に地形の要素を描いたものを参考までに載せた。このような表現は、ガイドブックなどに「概念図」として掲載されているものと同じだ。尾根や谷を描き加えてみると、地形の全体像が見やすくなるだろう。また、ピークと鞍部を描き加えることで、尾根上でのアップダウンが把握しやすくなる。特に尾根を把握することは、次項で述べるように山での現在地把握の重要な手掛かりになる。

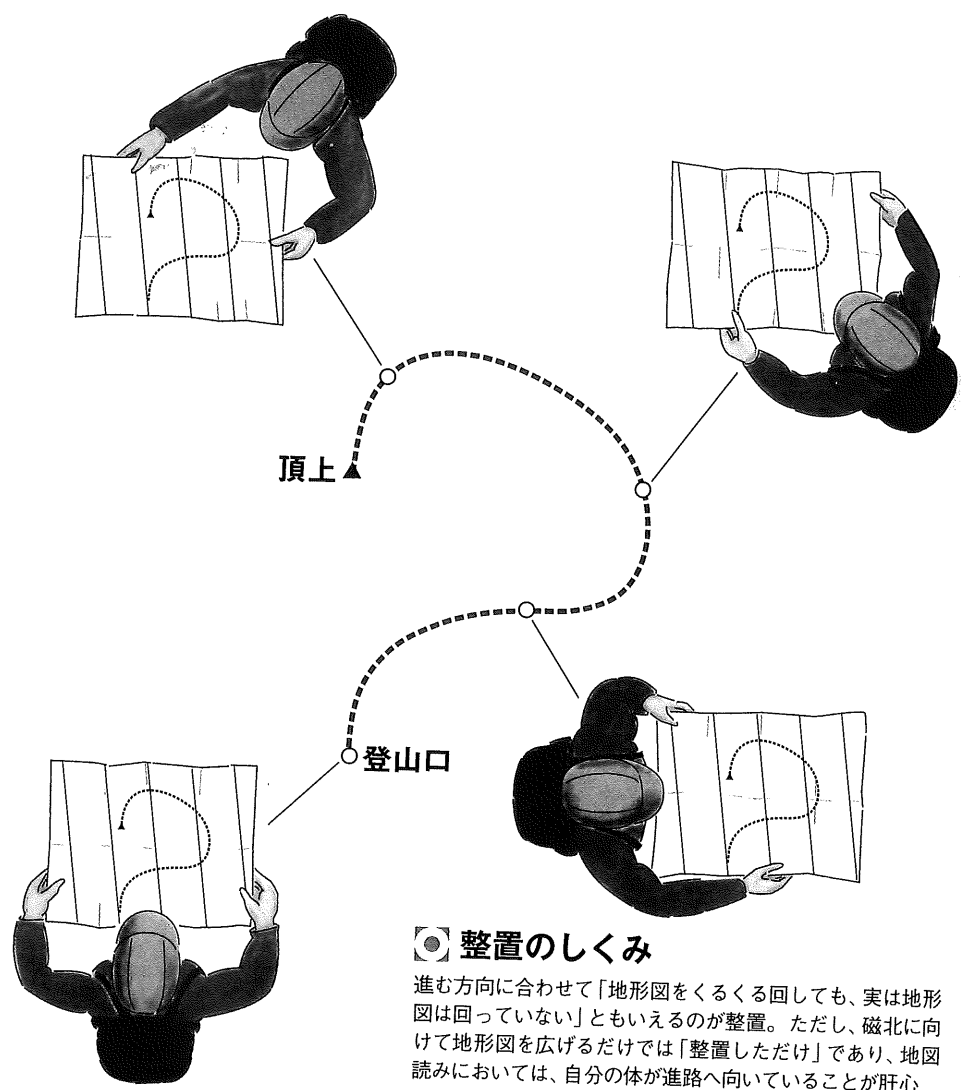


- 尾根
- - - 谷
- ▲ ピーク
- 鞍部

練習問題

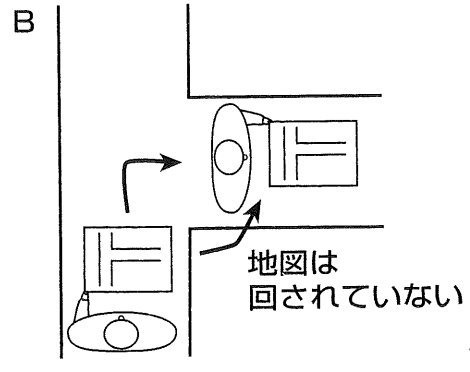
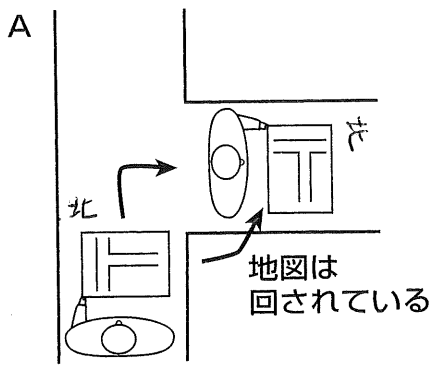
下の図a、bに地形の要素(尾根・谷・ピーク・鞍部)を、上解説図に倣って、描き込んでみよう。





整置のしくみ

進む方向に合わせて「地形図をぐるぐる回しても、実は地形図は回っていない」ともいえるのが整置。ただし、磁北に向けて地形図を広げるだけでは「整置しただけ」であり、地図読みにおいては、自分の体が進路へ向いていることが肝心



地図を回さずに持ちつづけた場合のAは、実際には地図が回されている。地図を曲がりに合わせて回した場合のBは、実際には地図は回されていない。

地図を回すことは、地図を回さないこと

